

みなと

横浜市立港中学校 学校だより
令和4年度 第3号
令和4年6月27日発行

～自分を大切にし、人を大切にし、地球を大切にする～

自然教室に行ってきました 副校長 熊澤 隆

GWが明けたあとの新型コロナウイルス拡大を心配していましたが、幸い大きな拡がりを見せることはなく、5月30日(月)～31日(火)の二日間、山梨県の西湖周辺で2年ぶりの自然教室を実施することができました。



普段の心がけのおかげか、初日は素晴らしい晴天に恵まれ、富士山もしっかり顔を見せてくれました。

空の青、雲の白、木々の緑、そして富士山とすべてが色濃く、都会ではなかなか見ることのできない美しい風景でした。

生徒たちは公園で昼食をとり、食後は広い芝生の上を元気に走り回ったり、学年全体で記念写真を撮ったりして過ごしました。おいしい空気と明るい日差しに、生徒たちの表情もとても明るく輝いていました。もちろん、先生たちも同じです。

午後は宿に到着、入宿式を行ったあと、2班に分かれてカヤック体験と富岳風穴、鳴沢氷穴の見学です。



カヤックでは、始めは恐る恐る湖に浮かんでいましたが、後半には皆ス

イスイと水面を滑っていました。衝突したり、インストラクターに引っ張ってもらったりと多少のトラブルはありましたが、カヤックの楽しさ、気持ちよさを十分満喫することができたようです。



富岳風穴、鳴沢氷穴は半袖では寒いほどの低温で、一部氷に覆われている所もありました（氷穴の入り口には「気温0度」の看板も）。

夕食の後はキャンプファイアー、歌い、踊り、自然教室ならではの素敵な時間です。男子も女子も、先生も生徒も、みんなで輪になって楽しいひとときを過ごしました。



夜の間に雨が降ったせいで、朝もやに包まれた二日目のスタートです。「クニマスの謎を解け」というテーマでの裏山散策（結構ハードな山登りでした）、みんな頑張って登りました。ゴールでクラス写真を撮りました。昼食には山梨の名物、ほうとうをいただきました。



横浜では経験できない美しい自然との触れ合い、たった1泊ですが、共に生活することで深まった友人との絆。今回の行事を通して、そんなことを感じ取ってくれていると嬉しく思います。行事は終わったらそれまで、ではなく、生徒たちには今回の行動の中で見えてきた課題をこれからの学校生活の中で乗り越え、より大きく成長してほしいと思っています。とにかく、皆が元気で帰ってきたことが何よりです。また、先生たちも楽しんでいる様子が見られ、嬉しくなりました。私自身、大変楽しい自然教室でした。

生徒の皆さんへ ～最後の大会に向けて～

「いかなる闘いにもたじろぐな
最強の相手を求めて、彼を汝の友とせよ
言い訳せず、品位を持って負けよ
汝を打ち破りし者に最初の感激を
汝と汝のチームに対して願うべきはただ一つ
堂々と勝ち、堂々と負けよ
そして汝自身の、汝の家族（チーム）の、汝の国の名誉を汚すことなかれ」

偶然の利益には、いかなるものでも騎士的に潔く捨てよ
威張らず、誇りを持って勝て
勝利より大切なのはこの態度なのだ
汝が打ち破りし者に感動を与えよ
常に最善の努力をしたものが勝つことを
汝の精神を汝の体を常に清潔に保て

ドイツのスポーツ哲学者、カール・ダイムの詩を紹介します。
最後の大会、全力で臨んでください。